

職員による自己評価

A業務改善

- ・各階層会議で検討し対応している。
- ・内部研修が充実していると評価がある一方研修が多く業務時間とのバランスが取れないという意見もある。

B適切な支援の提供

- ・個別支援計画に基づいて支援をしている。ミーティングの時間の捻出が困難な時がある。
- ・クラス以外からの意見も取り入れ個別支援を行っている。

C関係機関との連携

- ・必要に応じて関係機関と連絡を取っている。
- ・併行通園、学校との連携で見学会を行った。
- ・就学先等へ対面での申し送りを行っている。

D保護者への説明責任等

- ・個別支援計画等で支援内容を保護者に説明し確認ができています。
- ・保護者同士の連携の支援は機会があるが、感染症対応で一同に会する機会は少ない。通園頻度により開催の違いはある。

E非常時等の対応

- ・緊急時対応は概ねできていると評価。
- ・ヒヤリハットは随時報告を行っている。
- ・虐待防止の研修はあるが、共通認識を作るための対応は今後必要。

保護者による評価

A適切な支援の提供

- ・計画に沿った支援がなされている。
- ・子どもの個人差をプログラム内容でカバーされている。

B保護者への説明等

- ・子どもへの対応等について助言が受けられている。
- ・面談の回数増加等を希望する（保護者から相談する時間がない）意見がある。
- ・保護者同士の連携については、コロナの影響で交流が少ないとの意見が多い。情報交換や悩みの共感の時間がほしいとの意見もある。

C非常時等対応

- ・概ね緊急時対応の説明は受けていると評価。
- ・被災した場合の家族の備えについて知りたいとの意見があった。
- ・併行通園クラスは訓練日に該当しないと避難訓練が行われていないという意見があった。

D満足度

- ・多くのお子さんが通所を楽しみにしているという評価をいただいた。
- ・併行通園クラスの巡回訪問の再開を願う要望があった。
- ・次年度以降の支援について見通しができず不安を感じるという意見があった。

通園課内での分析

【共通点】

- ・子どもへの適切な支援の提供は実施されている。
- ・子どもへの支援内容が説明され、職員と保護者で確認ができています。
- ・訓練実施日に該当しない併行通園クラスの避難訓練が実施できていない。

【相違点】

- ・保護者同士の連携について支援が不足している。保護者同士の交流や情報共有の場を求める意見が昨年度より増加している。
- ・職員からの支援に関する説明等は十分にされているが、保護者の相談を聞く機会や話しやすい状況を設ける必要がある。

分析・検討してみて…

通園課の強み

- 個別支援計画を基に支援がなされている。
- 保護者に子どもへの支援を丁寧に説明し、内容を確認している。
- 子どもへの支援内容は、個々の状態に合わせた取り組みを行っている。
- 運営や緊急時対応等について、説明が丁寧に実施されている。

通園課の改善点

- 保護者プログラムの見直し
 - ・保護者が自分の考えを伝えられるきっかけづくりについて職員間で検討し、懇談会や面談の場で実践できるよう取組を行う。
 - ・保護者同士が悩みを共有できる時間が持てるよう、話せる場を検討、実施していく。
- 単独併行通園クラスの避難訓練の実施
 - ・通園時間が他通園と異なるため、別途機会を作り、避難訓練を実施できるようにする。

～自己評価を行っての通園課としての感想など～

今年度も、たくさんのご支援と協力をいただき、本当にありがとうございました。今回のアンケートでは、たくさんの高評価をいただいたことをとても嬉しく思います。保護者同士が集う機会も減少しているため、保護者同士のつながりを求める声が高くなっているように感じました。どんなやり方ならば、少しでも役に立つことができるのだろうか和職員皆で考えていきたいと思ひます。これからも保護者の方やお子さんたちにご満足いただけるような支援を考え、取り組んでいきます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。